

令和2年度総社市市民提案型事業 評価結果

	団体名 【 事業名 】	総合評価 (A~E)	コメント
①	ファミリーロードの会 【 町内会（有志）による植樹帯の整備を通して、 旧モデル事業構想の実現 】	B	町内会活動とファミリーロードの会の事業との住み分けが不十分であるので整理されたい。 本事業の趣旨である植樹帯の整備を軸として、補助金がなくても持続可能な事業を目指していただきたい。
②	山田プロジェクト実行委員会 【 山田プロジェクト ～菊池邸から広がる三世代交流の輪～ 】	C	山田地区に新たにコミュニティの場を立ち上げたことは評価できる。 ただし同地区は高齢化・人口減少地区であるので、地区内にとどまった活動だけではなく、他地区・他コミュニティとの連携を図り、さらに活性化する努力を期待したい。
③	池田地区 小道の駅プロジェクト委員会 【 池田地区 小道の駅プロジェクト 「小さな道の駅・池田」 】	A	着実に発展してきており、自立への道が見えてきたように思える。ただし槇谷地区は高齢化・人口減少が著しい地区なので、新しい展開を考える必要がある。商品の多様化などで販売商品の魅力を高め他地区からの来訪者を増やすこと、他地区と連携して担い手を多様化すること、レジ業務を電子化し担当者の負担を軽減することなどが挙げられる。
④	「今年も頑張っているよ！美袋」実行委員会 【 今年も頑張っているよ！美袋 】	B	防災に焦点を絞った、コロナ禍での工夫されたイベント開催で、多くの参加者があることは、つながりが深まっている証と評価できる。 ただし食糧費の支出が多いと感じられたので、事業目的に沿った適切な予算執行を心がけていただきたい。
⑤	備中神楽 総社社中 こども神楽育成会 【 備中神楽 こども神楽 】	B	衣装も揃ってきたので、団員数の確保と国内外での発表・交流などの今後の展開を期待したい。

⑥	NPO法人 保育サポート「あい・あい」 【 日曜日は「あい・あいサロン」で朝活！ 】	C	コロナ禍で大変な中、万全の対策をして開催したことは評価できるが、参加人数は期待値よりも低かったように思う。 継続のためにも参加者の増員が課題かと思われる。
⑦	そうじゃ食堂 くうねるあそび 【 そうじゃ食堂 くうねるあそび 「見て聞いて 子どものみんなへ 子どもだったみんなへ」 】	D	コロナ禍で計画変更をせざるを得なかったことには配慮する。ただし計画変更後の事業の趣旨が不明確であり、変更の条件(製本だけでなくネット配信)を満たしていないのは残念であった。 ただしこども食堂自体の活動は高く評価できる。
⑧	岡山商科大学 【 異文化交流会を通じた昭和地区 「まちとひと」の活性化活動 】	D	コロナ禍で大変だったかと思う。コロナ禍においては、学生と地域の交流は、オンライン対応可能な人との交流を中心にするしかない。ただしインフラの事前チェックを怠ったのは残念。コロナ後に、活動できるよう準備を進めていただきたい。
⑨	総社市介護保険関係事業所連絡協議会 【 仲間と紡ぐ介護の輪 地域貢献事業 】	C	ホームページの作成が支出のほとんどを占めているが、これに関連した説明が不十分であるように感じた。研修を実施したこと自体は評価できるが、ハイブリッド型の研修の内容(参加人数、利用方法等)については説明不足であった。
⑩	特定非営利活動法人ほっとはあと 【 子どもの非認知能力を育むための 大人のかかわり 】	B	5年間着実に事業を実施してきており、参加者は多くはないが十分に評価できる。これまでの活動の集大成として、分かりやすい内容の『5年間のあゆみ』が発行されたことが高く評価できるが、印刷部数や配布先について説明不足である。この成果を子育て中の市民や子育て事業に活かし継続してほしい。

採点基準	非常に高く評価できる…A 高く評価できる…B	おおむね評価できる…C 評価できる部分もある…D	ほとんど評価できない…E
------	---------------------------	-----------------------------	--------------